

まち・ひと・しごと・ファシリテーション

～ ようこそ「ファシリテーション 一日特区」へ ～

開催趣旨・目的

～なぜ、今、「行政」なのか 行政 × ファシリテーション = 何かが起きる!?

旧態依然からの脱却を図りながら現状打破へ動き出す時、ファシリテーションはどのような存在や機能を発揮するのでしょうか。地方創生が注目されている中で、新たな切り口や行動によって日常にスパイスやエッジを効かせて動き出している行政やそこに関わる人たちからそのエッセンスを探ります。

この一日は官民間わず、「できる」から始めて現状を打破すべく、規制のない「特区」のような場でのびのびと考えてみませんか。

新たな未来を創り出す先駆者たらんとする「次の一手」へチャレンジしたい方のご参加をお待ちしています。

■オープニング全体セッション 10:00～12:00

「つぶやきをかたちに」—成果追求の地方創生— ～氷見市の挑戦・まちの未来を描く“次世代ファシリテーション”～

フューチャーセンター市庁舎や対話重視の市政で注目される富山県氷見市。地方創生が叫ばれる中、多様な地域の力を結集して結果にコミットできるプロセスを描いていくには、これからどのような視点や姿勢が必要なのでしょう。次の時代の地域経営のモデルとして先頭を走る本川祐治郎市長から、まちの未来を描くプロセスデザインを伺いつつ、ファシリテーションの向こう側にある「次の一手」の姿と一緒に探っていきます。

氷見市長 本川祐治郎



1967年富山県生まれ。
早稲田大学商学部卒業、衆議員議員秘書を務めた後、帰郷。
高岡商工会議所で地域振興事業に関わる中で、協働コーディネーター・ファシリテーションの必要性に目覚め、専門を磨く。2000年からは家業の経営に従事。
その後、「政治・中間支援・民間」の3つのセクターでの経験を活かし経営士登録。プロファシリテーターとして起業し、代表取締役役に就任。
地域・企業のコンサルティングを行う。
2013年4月、富山県氷見市長選に無所属で出馬し当選。
「つぶやきをかたちに」を信条に市政運営にあたっている。
日本ファシリテーション協会会員。

<分科会内容> (詳細は裏面参照)

- 第1分科会 「組織運営とファシリテーション」
- 第2分科会 「市民と政策をつなぐファシリテーション」
- 第3分科会 「もう待てない！未来を先取りする職員になる！」
- 第4分科会 「ファシリテーションで変える教育現場」



■ 日時：2015年10月3日(土) 10:00～17:00
(受付開始：9:30)

主催：日本ファシリテーション協会 (FAJ)

後援：福岡県、福岡市、熊本県、熊本市、佐賀県、長崎市

会場：福岡県教育会館

福岡県福岡市東区馬出4丁目12番22号

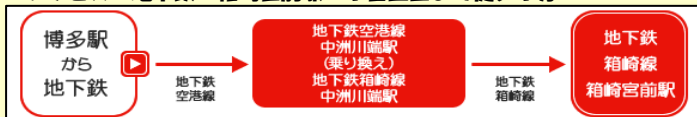
<http://www.f-k-k.jp/access.html>

参加費 (昼食お弁当代込み)

FAJ 会員	2,500 円
一般	3,300 円
学生	1,500 円



<アクセス> 地下鉄 箱崎宮前駅 1番出口より徒歩1分



天神方面からお越しの場合は、箱崎線の直通もあります。
西鉄バスでお越しの場合は、箱崎バス停より徒歩1分です。

お申込みはホームページからお願いします。

<https://www.faj.or.jp/>

検索のキーワードは、「FAJ九州支部」で！

分科会セッション（分野別特区） 12:45~15:45

興味のあるテーマに分かれ、参加者同士の対話を通じて学びと実践を深めます。

第1分科会（組織特区）

定員：60名

組織運営とファシリテーション

～脱・やらされ感

旧態依然たる組織運営にファシリテーションをどのように活かしていくのか？トッパやそれを支えるミドルのマネージメントの視点と、行政内外で永年に亘り組織風土改革に関わってきた現場感から、その突破口を一緒に探ります。

登壇者 本川 祐治郎（氷見市長）
吉村 慎一（暖家の丘事務長）

【進行役】平山 猛（FAJ九州支部）

第2分科会（協働特区）

定員：40名

市民と政策をつなぐファシリテーション

～結果にコミットする仕組みづくり

手詰まり感のある協働の現場にファシリテーションで次の突破口を見いだせないでしょうか？「場づくり」から計画や政策に結果を残す「形づくり」へのプロセスをバージョンアップする第一歩を日常の現場の工夫から一緒に探ります。

登壇者 加藤 彰（牧之原市政策創生専門監）
吉崎 謙作（福岡市美術館運営係長）
神崎 由美（春日市文化財課長）

【進行役】熊野 たまみ（FAJ九州支部）

第3分科会（職員特区）

定員：60名

もう待てない！未来を先取りする職員になる！

～自治体財政シミュレーションゲーム「SIM2030」体験

職員が自主運営するオフサイトミーティングから誕生したワークショップ・自治体財政シミュレーションゲーム「SIM2030」を体験し、待たなしの未来を先取りできる組織を創り出すファシリテーションの活かし方を一緒に探ります。

登壇者 今村 寛（福岡市「明日晴れるかな」発起人
／福岡市財政調整課長）

進行役 村川 美詠（諫早市「おこしの会」世話人
／諫早市職員課課長補佐）

第4分科会（教育特区）

定員：40名

ファシリテーションで変える教育現場

～「教」えるから「育」てるへ

変化や多様性の中にある時代における未来の人材を育てる場づくりはこれからどのようにあるべきか。アクティブラーニング導入を目前とした今、教育行政とその現場におけるファシリテーションの可能性と現状への突破口を一緒に探ります。

登壇者 白木 照久（福津市立福岡中学校長）
宇野 紀子（のおがた未来カフェ副代表）

【進行役】山口 寛（FAJ九州支部）

お申し込み時に分科会セッションの第一希望・第二希望を選択ください。先着順で申し込みを受け付けます。
なお、第一希望が満員となった場合は第二希望に調整させていただきます。あらかじめご了承ください。

■ クロージング全体セッション 16:00~17:00

各テーマでどのような対話が行われ、どのような気づきがあったかを参加者全員で共有します。

■ 懇親会（泡の会） 18:00～

会場を移動して、懇親会を行います。イベント終了後にもっと親睦を深めませんか？
人数確定のため、イベント参加申し込みの際に事前申し込みをお願いします。
なお、参加費は4,000円程度（参加費別途・当日徴収）を予定しています



■ お問い合わせ先

イベントに関するお問い合わせはFAJ九州支部 イベント実行委員会まで

問合せメールアドレス：kyusyu-event@faj.or.jp